



ロックダウンモード

概要

このセクションでは、ロックダウンモードの概要を説明します。ロックダウンモードは、ホストへのアクセス許可を制限することにより、ESXi ホストのセキュリティを強化するために使用されます。このモードを有効にすると、ESXi ホストには vCenter Server または Direct Console ユーザーインターフェイス (DCUI) からのみアクセスできます。ロックダウンモードの有効化は、どのユーザーがホスト サービスへのアクセスを認可されるかに影響します。



(注) ロックダウンモードを有効にする場合、`hxuser` アカウントを各 ESXi ホスト例外ユーザーリストに追加する必要があります。

- [ロックダウンモードの有効化または無効化 \(1 ページ\)](#)
- [ロックダウンモードのトラブルシューティング \(2 ページ\)](#)

ロックダウンモードの有効化または無効化

このセクションでは、DCUI から、または vSphere Web Client からロックダウンモードを有効または無効にする方法について説明します。

DCUI からのロックダウンモードの有効化または無効化 :

- ステップ 1 ESXi ホストに直接にログインします。
- ステップ 2 ホストで Direct Console ユーザー インターフェイス (DCUI) を開きます。
- ステップ 3 初期設定用の **F2** キーを押します。
- ステップ 4 [ロックダウンモードの設定 (Configure Lockdown Mode)] の設定を切り替えるには **Enter** を押します。
- ステップ 5 vSphere Web Client のインベントリでホストを特定します。

vSphere Web Client からのロックダウンモードの有効化または無効化 :

- ステップ 1 vSphere Web Client のインベントリでホストを特定します。
 - ステップ 2 [Manage] タブをクリックし、[Settings] をクリックします。
 - ステップ 3 [System] で、[Security profile] を選択します。
 - ステップ 4 [Lockdown Mode] パネルで、[Edit] をクリックします。
 - ステップ 5 [例外ユーザー (Exception Users)] をクリックし、[+ユーザーの追加 (+Add user)] を選択して、hxuser (すべて小文字) を追加します。
 - ステップ 6 [ロックダウンモード (Lockdown Mode)] をクリックして、いずれかのロックダウンモードオプションを選択します。
-

ロックダウンモードのトラブルシューティング

ロックダウンモードでエラーダイアログボックスが表示されたりソフトウェアのアップグレードが失敗したりする場合は、次のシナリオに応じて以下の解決オプションを実行してください。

少なくとも 1 つのホストがロックダウンモードである場合

展開フェーズで vCenter にホストを追加すると失敗し、エラーメッセージ「vCenter のホストを追加できません」が表示されます。

- ステップ 1 アップグレード前の検証でホストロックダウンモードをチェックします。
 - ステップ 2 状態を検出し、エラーをスローしてクラスタのアップグレードを中止します。
 - ステップ 3 ロックダウンモードを無効にして、アップグレードを再試行します。
-

アップグレードの進行中にホストがロックダウンモードである場合 :

展開フェーズで vCenter にホストを追加すると失敗し、エラーメッセージ「vCenter のホストを追加できません」が表示されます。

- ステップ 1 ホストをアップグレードする前に、ホストロックダウンモードをチェックします。
 - ステップ 2 状態を検出してエラーを送出し、アップグレードに失敗します。
 - ステップ 3 ロックダウンモードを無効にして、アップグレードを再試行します。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。